

3つの「絶つ！」で環境対策を再点検

気温や湿度が高くなるこの時期は、糞尿が腐敗しやすく、ハエの発生も多くみられます。この時期にしっかりと畜舎内外の環境対策を再点検しましょう。

①悪臭の元を「絶つ！」

- ◆家畜から排せつされた糞尿は、嫌気的条件（空気にさらされていない状態）で嫌気性微生物に分解されると悪臭を発生します。
時間が経つほど、悪臭物質は増加しますので、糞尿は速やかに処理しましょう。
- ◆過去には堆肥の切り返し時や散布時に悪臭に関する苦情がありました。糞尿、堆肥の処理は、天候や風向きなどを考慮して行いましょう。
- ◆畜舎及び畜舎周辺の清掃を励行し、臭気発生物の削減に努めましょう。

②ハエは発生から「絶つ！」

- ◆食べこぼしやこぼれた糞などはハエ（ウジ）の発生源となります。
特に清掃しにくい畜舎の隅、飼槽、給水器の下等、また、除糞しにくい床の隅などは念入りに行いましょう。
- ◆殺虫剤を用いる場合は、適切な用法・用量で散布し、使用記録を付けましょう。



③糞尿運搬時の漏出を「絶つ！」

- ◆未処理の排せつ物を持ち出す場合には、持ち出す前後に運搬車両を消毒しましょう。
- ◆運搬車両には糞尿がこぼれないように、シート等をかぶせましょう。



- ◆家畜排せつ物処理法により、牛・馬10頭以上、豚100頭以上、鶏2000羽以上の飼養者は家畜排せつ物を処理施設で管理することが義務付けられています。
- ◆家畜排せつ物の年間の発生量、処理方法・数量を記録しましょう。